

令和6年度
狭山市立南小学校

目指す学校像

児童一人一人を伸ばす学校「ルール チームワーク ベスト」



学校経営方針

◇ 学校は笑顔と真剣な顔が輝くところ ◇

- 「ルールを守る」のは生活の基盤を作るためである。
 - ・児童と先生の教育活動における基盤を作る。それは将来の社会生活での基盤につながる。
 - ・「いじめをしない」「思いやりを持つ」そうすることで自他ともに気持ちよく生活ができ、安心できる生活空間の構築につながる。
- 「チームワークをつくる」ことは自分も他人も大切に生かすことである。
 - ・チームの中で自分の強みを生かし、自身の役割を果たすことによりチームも強くなる。
 - ・目標に向かってチームワークがつくられると集団と個の力が相互作用で成長する。
 - ・チームの一員としての自覚と貢献が個の安心できる所属感や自己有用感につながる。
- 「ベストをつくす」ことは昨日の自分に負けないで一歩成長することになる。
 - ・力の出し惜しみをせず、ベストをつくす習慣をつけることで個の力が磨かれる。
 - ・ベストをつくす経験を繰り返すことで、チャレンジすることの意義を理解し、自信をもって行動できるようになる。

学校教育目標

考える子 仲よくする子 働く子

目指す児童像

みんななかよくみがきあう 児童

・ルールをまもる ・チームワークをつくる ・ベストをつくす

上級学校に向けて(目標の先に)

「自主・自律・自覚」

自分で考え、自ら行動できる

「貢献」

誰かの役に立つことをする

目指す教師像

◇ 児童一人一人を認め、励まし、伸ばす教師 ◇

- ・心身ともに健康で笑顔で児童の前に立てる教師
- ・自ら学び続け組織的に活動できる教師
 - すべては未来を創る子供たちのために。
 - 子供にとって教師は最大の教育環境である。

◇ 児童がたくましく未来を切り拓いていくために、この力を伸ばし、学びの質にこだわる。

- ・自分の考えをもつ力
- ・自分を表現する力
- ・相手の話を聴く力
- ・人を大切にする力
- ・チャレンジする力
- ・続ける力

本年度の指導の重点・努力

1 安心安全な学校づくりの推進

通学班の安全指導の徹底、自転車の安全な乗り方などの交通安全指導、新型コロナウイルス等感染症予防対策の継続、安全点検の確実な実施

2 基礎・基本の徹底

基本的な生活習慣の定着と体力づくり、「狭山市学力向上プラン」の活用、基礎的・基本的な学習の内容の定着、道徳科指導と特別活動の充実

3 研修の充実

G I G Aスクール構想の着実な推進、自他ともに大切にできる児童の育成を目指した研修、研修機会の確保と工夫

4 生徒指導・教育相談の充実

確実な情報共有と迅速な対応、わかば学級との交流、Q-U検査の活用、さやまっ子相談支援員・スクールカウンセラーによる相談

5 開かれた学校づくり

地域の教育力(学校運営協議会)の積極的な活用、適時に適切な情報発信(ホームページやメール等の工夫)

6 異校種との連携充実

保幼小との積極的な連携・情報交換、小中の積極的な連携・情報交換(入間野中・入間野小)